

円能院本堂地鎮式執行される

平成18年7月1日 午前11時より、円能院檀信徒総代・世話人14名、建築顧問のユウ・コーポレーション社長小西敏治先生、設計施工を担当する飛鳥建設株式会社より大丁佳雄東京支店長以下14名のご参加を得て、円能院住職導師により厳粛な地鎮式が執り行われました。



三重県桑名市に明治から続く宮大工の小島建設を訪れて、本堂に使用される見事な吉野檜材をはじめヒバ材・松材の木肌を確認しました。また、原寸場にて紅梁、蓼又、花頭窓、屋根の形状を確認し、実際のイメージを膨らませることが出来ました。



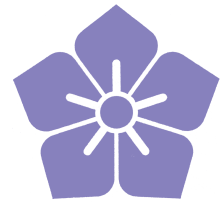
平成18年6月27日 新本堂で使用する吉野檜の材質や高度な仕上げが求められる部分の原寸検査に立ち会いました。

材木原寸検査立会い



福泉だより

金澤山 円能院 福泉寺



<8号>

真言宗 智山派
円能院
川崎小田



ご挨拶

お盆とお施餓鬼の季節となりました。檀信徒の皆様のご一家のご健勝とご安泰を心よりご祈念申し上げます。

皆様のご理解とご協力を得まして、おかげさまで本堂の工事は順調に進んでおります。

旧本堂・旧観音堂の解体は無事に終了し、地鎮式も執行いたしました。これから新本堂の基礎工事が始まります。すでに新本堂の工事現場は安全のためのフェンスで囲われております。お施餓鬼やお盆の際には以前のような駐車場を確保することができなくなっておりますので、まことに恐縮でございますが、お参りの際にはなるべくお車での来院をお控えいただきたく存じます。

建築に際しまして関係所（水場）を解体して、仮の水場を新設いたしましたので、ご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いします。ご理解とご協力をお願いします。

また、新本堂の柱は素晴らしい吉野檜を確保することができました。すでにお知らせいたしておりますように本堂にも車椅子で入れるようにバリアフリーの設計で建築されます。伝統を生かしつつも皆様にはお参りしやすい素晴らしい本堂が出来上がる日を楽しみにお待ちしております。よろしくお願いいたします。

また、新本堂の柱は素晴らしい吉野檜を確保することができました。すでにお知らせいたしておりますように本堂にも車椅子で入れるようにバリアフリーの設計で建築されます。伝統を生かしつつも皆様にはお参りしやすい素晴らしい本堂が出来上がる日を楽しみにお待ちしております。よろしくお願いいたします。

ご寄付に關しまして、現時点で3億5千万円を納入いただきました。経済状況が芳しいとはいえない現状にも関わらず、皆様のご理解とご協力に對しまして改めて心から感謝申し上げます。

本堂の棟上は平成19年3月18日、完成は平成20年1月を予定しております。

皆様には長期にわたりご不便をおかけいたしますが、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地鎮式

地鎮式は工事の安全を祈念して、神仏のご加護を請う儀式です。

ご本尊が祭られる場所と四隅に穴をあけて、中央の穴の脇に幣（へい）を立て、穴の中には蓋のついた瓶を入れます。この瓶の中には五宝、五香、五穀、五穀の20種物を入れていきます。

参列者全員にお焼香をしていただき、工事が安全に進むようにご祈念して、鍬入れをして無事に終了しました。

五宝 金・銀・瑠璃・翡翠・真珠

五香 丁子・竜腦・沈香・宇金・白檀

五穀 大麦・粟・菽豆・胡麻・稻穀

五葉 赤箭・茯苓・人參・石菖根・天門冬

お施餓鬼会・お盆について

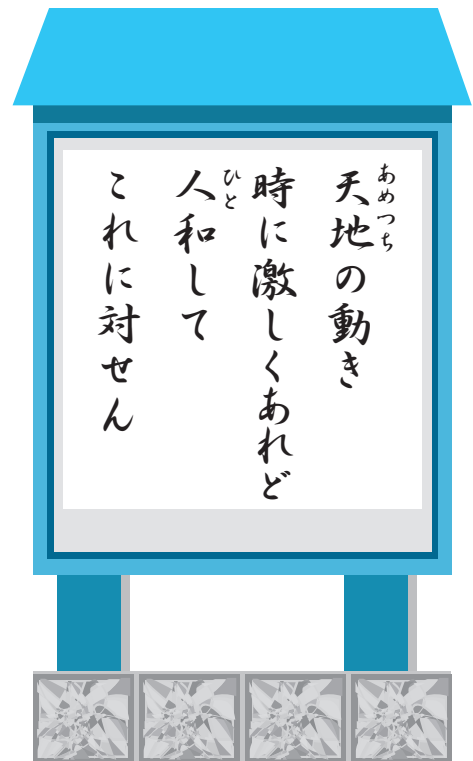
◆7月10日 お施餓鬼会 午後2時より

◆7月13日 迎え火 } 期間中、
◆7月16日 送り火 } 午前11時、午後2時に
総回向を行います。

*円能院では、現在、本堂の新築工事のためにお墓参りにはご不便をおかけしています。

特に車での出入りは困難な状況ですので、ご注意ください。

*新盆精霊の供養を希望される方（川崎区内）は日時をご相談下さい。



近年は地球規模による自然災害が発生し、多大なる被害と犠牲を出すに至った。

これらの原因として温暖化をはじめ周期説など種々耳にするところであるが、何分にも無限に広がる大宇宙に浮かぶ惑星（太陽の周囲を公転している）の一つである地球のことであるから、これら大宇宙の変化の影響を受けることは当然であって、古来、天の神、地の神に安泰を祈ってきたことは、自然の姿であつたといえよう。

これに対して人間社会における近代化の顕著なる発展は、相互間に激しいまでの競争意識を

生じ、さらなる進展を見るところとなった。

その結果は今日の社会のように、一見まことに便利で豊かで恵まれた環境になったのであるが、その実態は決して安全であるとは言えない。

それどころか、毎日のように発生している事故や事件は、まさに人間社会が生み出した現今の病根とさえ考えられよう。

われわれは、先祖から受け継いだ筈の心の優しさを取り戻して、お互いに認め合い、助け合える世の中、住みよい社会にしなければならぬと痛感しているこの頃である。

建築期間中のお願い

建築工事が開始されますと、作業車の出入りや資材の保管のために境内狹隘となり、檀信徒の皆様にはご不便をおかけすることになります。特に彼岸会やお盆をはじめ、当院の年中行事も従来のように執行することが困難になりますので、工事期間中のご不便をご理解願います。

編集後記

ますます高齢化、少子化、核家族化が進んでいることから、わが国の将来を憂慮する声が高まっている。

加えて若年層が都市に集中するとか、肉体労働を敬遠するなど、社会環境の急速な変化とともに国民の意識にもこれが強く反映しているのであって、これらは教育問題や医療問題にも大きな影響が見られる。

これらについては政治的にもその対策が検討されているところであるが、社会体制の整備とともに、国民一人ひとりが、未来の国のあり方について考えておく必要がある。明るい家族なくして、明るい平和な国もないのであるから。

発行所

金澤山 圓能院 福泉寺
川崎市川崎区小田
1丁目25番12号
電話/044 (333) 4476
FAX/044 (366) 6972

発行人

佐藤隆賢